夕刊
磐城新聞
五月二十一日發行
定價一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金（普通欄五行十二字詰一行一回金六拾錢 特別欄…金九拾錢）
編輯印刷發行人 荒川龍朝
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

超高速度の小說涉獵

赤井嶽男輯錄

百八塚妖怪陣

橋場銷刺作

紀州家に秘むる幾十萬兩の黃金の在所を記した古文書、時の重臣はこれを探つて財政難の紀州家を救はうとする、其の密談中襖一重に立聞きする怪しき人影一人は艶麗な若き腰元、一人は折から忍び入つた覆面の怪盜、序幕の絲は切つて落とされこの一つの財寶をめぐつて武士、町人、町奴、麗女、惡人、策士等々は右往左往に出沒する、中にもこれを軍用金に覘ふ由井正雪あり、其間黃金を埋むる百八塚には奇々怪々の古狸妖猫が顯現し、不可思議な絲をたぐつて波瀾は萬丈曲折は多岐を極めて惱ましい迄の人間性の弱點が描かれて行く

作者の言葉

私はこの一篇をつくるに先き立つて從來の劍味と情味以外に怪味を盛ることに少からず苦心しました、怪味は時として人間世界に想像も及ばぬ程の奇想天外を展開せしめ、又その取材如何によつてはこれ程讀者の脈を躍らせ興趣を湧き立たせるものはないと信じます、そしてこの怪味が劍味情味と同樣に若しくはそれ以上に發揮せられるとしたならば取りも直さず大衆文藝としても完璧のものであり又從來試みられなかつた大衆文藝の處女地をも拓くものと思ひまする、私は斯うした信念の下に數月を作筋の推敲と時代の考證とに沒頭しました幸ひにして私のこの企てが若葉の如き香ひと夕べの涼風の如きそよぎとを持つ新らしい大衆文藝として諸子の御期待に副ひうるならば幸甚であります。

（その一齣）

『其の昔、朝日長者昭道が子孫の爲めにと五ッの陶製の器に一杯の黃金をもり、塚の五ヶ所に埋め置いたとは長者が家の一大秘事でござらう、其の後者の子孫は死に絕え誰堀り出すものもなく、草から出て草に入る、月の武藏野に土を冠らせ棄てるは、なんと惜むべきものではあるまいか』

と、相手の人を見詰るのは、年が四十前後、分別思慮に乏しくない立派な武士、相手は客と見えるが、身分は幾らか下らしく、聊か下座に膝を置き、熱烈の氣を顏一面に漲らして眤と耳をすまします。

此の人物は主人より歲は十ヶ位劣つてゐるが、血氣旺盛で何事をも辭せざる猛勇が眉宇の間にムク〳〵と動きます。

拈華微笑

磐中高女に悲しい記錄、滑川櫻井兩物故校長ら泉下に哭せん

◇

鯉幟ここに日本男兒あり。一枚の端午祝ひは好い思ひつき

◇

雀の巢の樣にモヂャクレル平の理髮組合

◇

平第一小學生の刄傷沙汰。ひと事ぢやない當局の戒心一番を要する處

◇

ハイカラ言葉で鰹船のオンパレード。各濱活氣づく

淺春賦

磯田沙路

○鞍掛山
けならべてふるきりさめに鞍掛の雪の解けつつ谷津は溢るも

○湯の花澤
神山にかたよる雲のきりとなる湯の花澤に春たちにけり

○修善寺溫泉
おぼろ夜のいでゆのまちゆ谷津あひの湯ぶねにおみなあまた浴す

○丹那路
丹那路や松山襞をぬふきりのはれゆくなべに鳥の聲する

○猪野邊近く
雨細くしみらにそゝぐ畑道、こゝのなづなは花ざかりなり

○天城嶺
天城嶺のはざま〳〵に立ちのぼる夕もや白く山をめぐれり

お晝時

逸名氏

藥屋の〳〵の
青葡萄

しつぽ、ふり〳〵
こつちみる牛の子

『ツーモウン
モウン』
に母さん呼べは
お晝は野良から守が來る

5月22日

△北條高時自殺す（元弘三）△新田義貞鎌倉に攻め入る（同）△江戶城西丸燒く（嘉永五）△北畠顯家戰死、准后北畠親房の子也、一門閥族を擧げて南朝の爲に殉せしもの楠氏ど共に並稱せらる、此日顯家孤軍を以て和泉國境の石津に於て足利の大軍に當りあはれ戰場の鬼となる（延元三）△ワグネル生る、近世獨逸音樂界の偉人、近世歌劇の完成は其の力に負ふ處頗る多い（紀一、八一三）

一日一禪

○三更月照幽窓外
松竹青々碧欲流

時代警句（獨步）

○クリストの如き之なり、ウォルズウォルスの如き皆然り。素より涙あり、情あるなり同胞人間の爲に神の爲に心の最底より湧き來るなり。『我』より出る悲悶は神の罪なり（欺かざるの記）

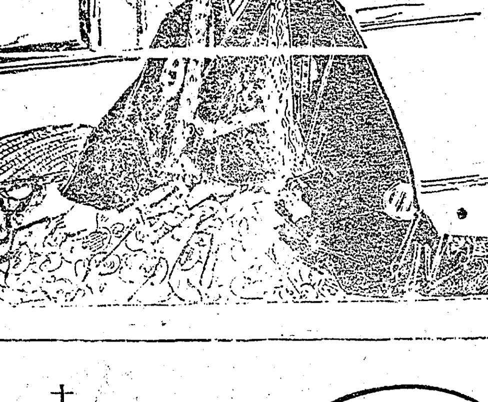
○吾に自信あらば吾に寛容の德、克己の堅志冷靜なる意志、邁往勵行の氣なかるべからず此等の者なくして自信ありとなすは自ら欺くものなり、自ら知らざるものなり（同）

講談 元祿名妓傳

小邑井小巴演
（宮野恒彥畫）

七十七席

時に鳴右衞門が鳴『待て〳〵七、安を成敗してよければ拙者が成敗してやる、さがみ屋喜兵衞の百兩は一時は拙者が預りとして、兎も角も二千兩の大仕事をしたのに、安の骨折も充分あつた今日は是から喜び酒としよう、皆心持を惡くしないで一杯飮んで呉れ、安だて拙者の片腕と賴んだ人間然う何も隱し立てはしてゐるものでない、是れには何か仔細があらう仔細は後々聞く〳〵として酒だ〳〵』頭は頭だけ手下一同に殺氣がみなぎつて居ると察し、兎も角も一時は納まりをつけ樣と忽ち酒を持出させました、一同のものも皆命がけの仕事をして居るのに武士安ばかり蔭で好いことをして居るのは不快だが、鶴の一聲には閉口しない譯に參らない、ブツブツ言ひながらも是から酒を始めました併し何か物が奥歯に挾んで居るやうな氣分だから、いつもの樣に酒がうまくない三內の奴赤い切れの合圖を善兵衞に見られたことを早速お頭鳴右衞門に言はなくてはならなかつたのだが、其處へ斯う云ふことが始まり、皆がきが荒立て居る樣子へたなことを言つてトッちめられては割に合はない善兵衞は何も此の儘船から外へ出て行くものでなし外のものには話しやうがない其內機嫌の好い時を見計らつて、お頭の耳に入れば好い今日は止めやう……一寸延びればひろとやらで三內これを鳴右衞門の耳に入れなかつたゝめに、後には彼等の運命にも懸はゐやうな事が出來致すとは、神ならぬ身の誰も知るものはございません、さて酒も半となつた時、鳴『斯く一同で酒は飮んでも、荒くれ男の揃つた船中では優しいものゝ取持ちに不自由だ、斯れを此の座へ呼出すのは聊か機密を窺ひ知られる恐れはあるが、併し思ふ仔細もあつて何時までも拙者共の身の上は包んで居られもしまい、知れた悟つたとすれば夫まで、ダガ皆口を愼んで仕事の話しなどは一切してはならぬ、其代り美人に酌をさせる、三內おつるを連れて參れよ、善兵衞だけは彼方に置け』三『ヘエ』と三內は忽ち松の間へさがつておつるを連れて來る、武士安は船中に婦人が居る見たこともない美しい女だ、さがみ屋の素べた女郞になどとても並べものにならぬ、トロンコになつた眼を餘計にもにぶくして、おつるの顏ばかり見て居る。鳴『サア〳〵鶴皆のものに酌を致してやつて呉れ、誰も彼も恐ろしい顏ばかり持つて居るがな、是れは皆拙者の家來共で至つて心はやさしい者ばかり、恐るゝところ心配するところは無いから、氣置なく酌を致してやれ』鶴『ハイ』小猿の留が○『えゝおつる殿手前に一ッ酌婦願ふ』鶴『ハイ』七『手前にも』鶴『俺にも』と我勝に盃を出す、武士安が。安『にゝ是れはお頭……オッ卜親分、イヤ旦那樣……』鳴『アハゝゝ安何ゆつて居る！』安『此の女は一體何うしたのでございますへ』鳴『これは物の間違ひで他の船へ連込まれるところを此船へ來たのだ、連が一人ある、其の連れが拙者以前より知り合ひの者だ、此の當人は其者の姪とやらだ、當分は船內に留置く、追つては親許へ返すものだ其心得でなア』物を隱した野郎だが、鳴右衞門の方では一向隱しませぬ、武士安は不思義な面をして、『あゝ然うですかへ、オイ〳〵娘御拙者の方へも一ッ酌を賴むよ』とジロ〳〵顏を見る。鶴『ハイ』と酌をしながら安の容子を見ると、此人ばかりは鳴右衞門に次で武士らしい姿をしてゐる、夫のみならず此人物は何處かで見た樣な氣がしますが、夫れは思ひ出せない、其儘大盃に酌を致す、其內に一同醉ひが廻つて來る、皿小鉢を叩いてダミ聲を張り上げるものがあれば、妙な身振りで尻振り踊りをする奴もある、大變な騷ぎ…。



ラヂオ

…廿二日（金曜）…

仙臺 JOHK

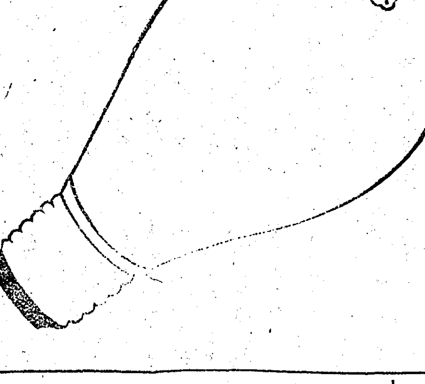
△前六、三〇 七、〇〇B ラヂオ體操
△八、四〇A 經濟市況
△九、〇〇 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 ローカル 料理獻立（ピクニックにふさわしいサンドウヰッチ）辰木ナカ 日用品值段（鮮魚るい）
△九、三〇 一〇、二〇A 經濟市況
△一〇、三〇 一一、〇〇 ローカル 洋縫講座（我國婦人の服裝に就ての所感並その裁縫）東北女子職業學校敎諭渡邊すぎ
△一一、四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇A 浪花節（田沼の刄傷）桃中軒桃子
△〇、四〇A 全國ニュース 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況
△二、〇〇 二、三〇A 家庭大學講座（基督敎の敎義）明治學院中學部長都留仙次
△二、三〇A 經濟市況
△二、四〇 六、〇〇A 運動競技豫備日（春季六大學野球リーグ戰試合狀況）
△三、四〇A 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニュース 河北新報社ニュース
△四、一〇 五、五〇A 角力中繼（東京大角力夏場所九日目）
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晚の番組豫告
△六、〇〇 六、三〇L（子供の時間）お話（蒔かぬ種は生へぬ）理學博士大島廣
△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（初等科）岡倉由三郞
△七、〇〇A 全國ニュース 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、二五 七、五五 ローカル 趣味講座（東半球の土産話）石井君村
△八、〇〇 八、三〇A 連續講談（高砂浦五郎）寶井琴凌
△八、〇〇 九、〇〇 ローカル 管絃樂
△九、〇〇 九、三八 ローカル レコードの時間
△九、四〇A 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

廣告

平町田町
井坂醫院
電話五五九番

平町六丁目
木村醫院
電話三〇九番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ


十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三
大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

開業
耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
増田耳鼻咽喉科醫院
（入院隨意）

平町田町
高久病院
（電話五一三番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

雨傘と日傘
完全防水マント
清楚なパラソルと
日本趣味の豊かな日傘
ツルヤ
平四・電一四〇

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

通學服特賣 モリタヤ洋品店 電353 平5丁目
●霜降小倉 一等標準生地
一二年用 五十錢
二三年用 五十五錢
三四年用 六十錢
四五年用 六十五錢
五六年用 七十錢
霜降小倉二等生地 一號 三十五錢ヨリ
良イ品ヲ正シイ値段デ
●中學生用 最極上生地
一二年生用 一、八〇錢
二三年生用 二、〇〇錢
四五年生用 二、三〇錢

內科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨意）
電話一一四番

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
關內藥局

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
平町紺屋町
藤沼醫院
電話平五〇七番

石城にも男女數名の 共産黨再生運動關係者
今回の記事解禁で 地方一般が寝耳に水の驚き

昨二十日午後五時の記事解禁と共に俄然天下の耳目を發動した日本共産黨再生運動の關係者として起訴された百七十三名中石城郡下からは左記六名の男女を出してゐる

湯本町天王崎（大正十年磐中第二十一回卒業同十二年仙臺第二高等學校へ入學昭和四年三月東大農學部農業經濟部を卒業）
　齋藤　武（二八）

平町某家女婿、東大卒業無職
　平野義太郎（三四）

四倉町、大倉高商中途退學
　金子英藏（二四）

湯本町、東大在學中
　鈴木　平（二四）

平町、帝國女醫專中退
　新田目敏子（二〇）

小名濱町番町一三住所東京府下岩淵町稻付一二九田中方無職
　丹野せつ（四〇）

前記の内齋藤武は東大在學當時から早くもこの運動に參加し、東京地方オルグとなり、一味の田中、佐藤等と再建に闘爭してゐたものであり丹野せつは四・一六事件に引つゞいての檢擧で昭和三年十月國領伍一郎と一緒に捕へられた渡邊政之輔の内妻で、保釋出獄となると間もなく行衛を晦まして再建共産黨の運動に參畫し、再び囚はれの身となつた、彼女はその間第一次共産黨當時の同志藤原と同棲し捕はれた時には妊娠してゐたが病身なため墮胎した

縣參一行
會計檢査日割

若松美三、物江浩、馬場長一郎

▲安積、安達、田村三郡所在各廳檢査日割（〇印甲班◎印乙班）

▲五月二十六日〇本宮町集合◎本宮町集合午後一時四十分本宮警察署集合熱海一泊

▲同二十七日〇本宮警察署◎種畜場

▲同二十八日〇郡山警察署農事試驗場◎安積中學校

▲同二十九日◎安積高女學校、郡山市役所◎郡山土木監督所、蠶業取締所郡山支所

▲同三十日〇田村中學校◎三春警察署、蠶業取締所三春支所

▲三十一日〇小野新町警察署、蠶業試驗場小野新町支所◎煙草試驗場

薰風に跳躍して 物凄い大接戰を
昨日盛況裡に了つた 入山の從業員慰安運動會

入山炭礦從業員慰安運動會は昨二十日午前八時より同坑所屬グラウンドに於て開催したが恰も全山の公休日であり天候も申し分の無い競技日和で觀衆も多く非常な賑ひであつた、成績次の如し

△一、五〇〇米（四分四〇）1遠藤（正）2直江3熊谷4田村5才田

△走高跳（一米五五）1富澤2佐藤3西田4中山、兒島、坂内、赤坂

△砲丸投げ（一一米二〇）1井畑2根本3高ゞ4上面5赤坂

△八〇〇リレー（一分四四・二）1運轉2第四坑3會計倉庫4運輸人事病院其他5第五坑

△一〇〇米（十二秒一）1西田2荒川3高木4國井5佐藤

△八〇〇米（二分二〇秒）1淺川2田村3直江4鈴木5遠藤

△二〇〇米（二五秒二）1西田（兒）2高橋3加武東4國井5増子

△走高跳（六米一四）1西田（兒）2西田3中山

△四〇〇米（一分一八）1高橋2加武東3淺川

△五〇〇〇米（十八分一三）1遠藤2熊谷3直江

△一、六〇〇リレー、1運轉2第四坑3會計倉庫4人事運輸第五坑

△對抗試合人事運輸、網曳き分け

平商業の選手が 晴の縣下体育大會へ
今秋から出場の意氣で 目下猛練習を續く

平商業學校では愈々今年度から五年生も出來中等學校として間然する處なき形態を備ふるに至つたので毎年九月に行はれる縣下中等學校体育大會に出場すべく各部共目下物凄い迄の猛練習をなして居るが之れが下準備として來月七日各部約五十名が双葉中學校に遠征練習試合を行ふ事となつた

平署選手豫選試合
室井氏以下決定

平署では昨二十日午後二時から同署武道場で來月上旬開催さるゝ縣下警察官武道大會へ出場すべき選手の豫選の意味で劍道試合を行つた結果左の如し

△一等室井誠吾△二大谷次男△三兒島鶴吉△四二名菊地作次郎、鴫志田信之

小川春蠶兒
掃立から三齢迄

小川村方部の春蠶は繭價安及び霜害其他で約一割五分減と觀られてゐるが目下の蠶況大体左の如し

△下小川關場三齢二三日眠中のもの少數△上小川福岡、三齢前後晩きは一眠△内倉横川一眠前後で桑葉發育最も不良△戸渡目下掃立中

皐月の天高く飄る 平第一校庭の鯉幟
兒童の零砕な醵金で 來端午の節句を祝ふ

閏の關係で遲れたが舊暦の五月が近づいた。野も山も皆緑に生き返つて來た、これから大に伸びんとするいとし子の爲めに、伸びよ、肥によ、出世せよと家族縁者が祝つてやる月端午の節句が來るのである。家々では武者人形や、幟などを飾つて、いろ／＼のお祝をする。平第一小學校でも此の由緒ある節句に當つて大きな鯉幟を校庭に飾つて、子供達の將來を祝し、質實剛健な國民性を涵養することに努めたいと云ふ處から全校兒童が小額の金を出し合つて意義深きこのお祝をすることになり今日から全校兒童に對し一二錢の寄附を募つてゐる

戸渡分教場
廿四日開校式

上小川村戸渡の家庭敎場は此程分敎場に昇格二十四日午前九時から開校式を擧行村から四百圓を寄附する事となつたが目下の收容兒童は五十四名であると

投槍
寄書歡迎

僕も減員賛成

今夕刊の投槍を讀んだが僕も減俸より減員の方が賛成だ、減俸の目的が歳入減の補塡にある限り、減俸よりも寧ろ減員を可としないか、減員するの結果はなるほど智的失業群を出すであらう、一方に於て失業救濟に大車輪の政府が、一方に於て失業者を出すことは一見矛盾してゐるやうだが減俸の理由が、民間生活層の低下に殉せしめようといふのであるならば、逐月増産される民間失業者に殉せしめることも減員の理由となるではないか、まアそんな事は第二の理由にしても老漢李君の意見とダブルが、今の役所には人間の數が確に多い。多いために種々の不便がある

官吏の執務が極めて非能率であることは、既に確認されたる常識であるが、これは人間が仕事をしてゐるのではなくして、仕事に人間が使はれてるからだ、一人で充分間に合ふ仕事を何人かの人間が同じ能力で同時に精力を濫消してる、船頭多くして舟山に上るといふ比喩は今のお役人の仕事を諷する爲に創作されたのではないかとさへ我等は思つてゐる、七つも八つも甚だしきは二十も印を捺してゐる印を捺すべき人が不在のときは歸るまで待つてゐる、然も大部分の印は所謂盲印と云ふ奴で、捺しても捺さんでも結果に變りがない、その效果なき印を捺させるために三日も四日も甚だしきは一ヶ月も辛抱強く待つてゐる。こんな不合理がこの世智辛い世の中で認容出來ようか減員説に共鳴する所以（〇丁目裏新米腰辨生）

五丁目青年
卅名一行上京
東京方面を見學

平町五丁目青年團員約三十名は今曉零時半平驛發で上京東京方面を見學の上二十三日歸平すると

平新局長着任

平郵便局新任局長研石淸氏は昨二十日仙臺遞信局から着任した

□□□□□ 河野町長出席

縣下各町村統計講習會は昨二十日須賀川で開催されたが江名町からは同村長河野嘉藏氏が出席した

濱三郡の木炭生産高 逐月激增の傾向
去月中の檢査數は 前年同期の五割增

濱三郡木炭同業組合四月中の生産檢査高は此程調査を完了したが昨年同期と比較して五割強の增加で逐月增加の傾向に役員も今更驚ろいてゐるが内譯左の如し

△石城八八、八七七△双葉九三、二四四△相馬二九、八四一　計二一一、九六四　昨年一三九、六五七

平町の理髪紛紜
倍々深刻化の形勢
次の部會が刮目さる

理髪業組合平部會は今二十一日午前八時から平署武道場で開催したが出席者五十三名で副部長の補欠選擧を行つた結果部長木田由三郎副部長荒木忠吾兩氏當選終つて部員から須賀川の總會に當り組合長比佐信太郎氏から指名した代議員問題の紛紜に關し質問する處あつたが何等要領を得る處なく散會したが一部では來る部會に於て一問題とすべく意氣込んでゐる

愈々玆四五日中 江名鰹船出揃ふ
萬盛と淸勝昨日出港

江名町中の作加澤一造所有鰹漁船萬盛丸同佐藤淸八所有の淸勝丸は昨二十日午前八時鰹漁獲のため出漁したが玆四五日中には同町全船が出動するらしいと

所持の小刀を揮つて 相手の子を突き刺す
四倉校庭の美化作業中 小學生同志の刄物三昧

四倉小學校五年生同町原田末吉長男小畑勝英（一三）同戸の内忠五弟引地善高（一三）何れも假名は十九日午後二時頃同校々庭に於て美化作業中些細の事から喧嘩を始め勝英は矢庭に所持の小刀で善高の顔面胸部等を突刺したので受持敎師が驚いて最寄り醫師の應急手當を受けたが全治二週間の見込であると

公賣公告

石城郡上遠野村大字瀧字北里保二三
　滯納者　荒川　喜芳

差押財産の表

石城郡上遠野村大字瀧字北里保五番
一、畑反別　貳拾四歩

同郡同村大字同字同貳拾壹番
一、畑反別　貳拾六歩

右國税滯納につき前記財産昭和六年五月廿九日午前自九時至十時當署に於て入札の方法により公賣に附す詳細は當署に就き承合の上入札を爲すべし

昭和六年五月廿日
　平税務署長

□□□□□ 湯本町種痘日割

湯本町では左記日割を以て種痘を執行する

△入山炭礦二十三日午前八時（入山病院）

△湯本町二十四日から三日間（公會堂）

不審訊問の男は 果して曲者！
曩に格闘逮捕した 銅線泥棒の片割れ

當時住所不定無職茨城縣多賀郡磯原町重内炭礦坑夫遠藤吾市（三八）は今曉平町地内を徘徊擧動不審と見られて留置されたが取調の結果去月中東部電力平營業所から銅線四十貫を窃取し平舘前で白晝大格闘の末捕へられた八幡虎次郎（三七）の共犯者と判明引續き取課中

□□□□□ 他人の妻子と家出

双葉郡津島村矢具野居住渡邊善一（三二）は去十八日午前十時頃同村片倉根尺石上杉藥治郎（三三）の妻ノイ三男茂（一）を連れ無斷家出行衛を晦ましたが常磐炭礦方面に行つた形跡あると昨二十日藥治郎は平署へ右三名の捜索方を願ひ出た

ハシカ大流行
小川で卅名

上小川村では最近痲疹流行が甚だしく目下の分三十名近くの患者あると

□□□□□ 山中に縊死体
産後逆上の女房

好間村上好間小舘居住岩瀬郡稻田村大字保土原字新屋敷生れ常松ツルヨ（三三）は十八日午後二時頃同村稻荷原地内杉林中で縊死して居るのを通行人が發見駐在所に屆出たので佐藤部長が檢死したが同人は産後精神に異狀を呈し去月中行衛不明となつてゐたもので平署へ捜査願中のものと判明した

四倉通信

波打際に 人間の片足
江の網遭難者乎

昨二十日午後一時頃久之濱仲町海岸に骨ばかりになつた人間の片足が漂着しあるを通行人が發見届出により松本四倉署長が臨檢したが去月中江の網にて溺死せる漁夫のそれではないかと見られてゐる

女給健診執行

四倉町カフエー女給の健康診斷は昨二十日門馬醫院に於て執行したが一人の有毒者なく成績良好であつた

□□□□□ ロツプで大怪我

十八日午後四時項四倉町字新町小港辰吉（五三）はあぐり船より鰯を積替へ舟にて陸揚げ中誤てロツプに彈かれ顔面腹部に全治二週間の傷を負ひ目下木村醫院に入院加療中

艶罪黑白

◇禿頭はその程度によつて理髪料の割引を爲すと決議した理髪組合がある、といつても幹部の仲ま揉めを仕事にしてゐる平の組合ではなくチト遠い淡路の國の岩屋と云ふ處だそうな◇前に鳥居はないけれども後に少々カミが鎮座するような光頭會員と鬱蒼たる翠峰とを同じに料金では不合理な譯だ、平町でも一つ光頭理髪料値下げ運動でも起してはどうかな◇それでも藝者は瀬戸物でも熊の皮でも料金が同じだせ、『紳士はそんな事仰しやるものぢやありませんよ、御人格にかゝわりますよ』と秀勇が鼻聲を出した。

平町人事

△婚姻　紺屋町一佐々木司郎（三二）泉村本谷堀内九六小野キワ（三〇）

▲死亡　立町一二神谷村上神谷上二須藤サヨ（五四）

入院隨意（自炊の便あり）
X光線　外科專門
平南町
上田醫院
病室完備　（電話一二九）

貸切は●の
親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任　澤　正路

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋　和洋銅物
（久）釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

外科
内臟外科　整形外科　外科一般　醫學士　松永憲一
産科・婦人科　院長　木村寅次郎
平新川町十九
木村病院
電話一六四番

◎レコード破りの
石炭大廉賣！
（磐城炭礦二等炭）
正味十貫目一俵　金卅錢也
◆品ガ良ク『値ハ安ク』ヲモツトートスル當店ハ此度超破格ノ格安石炭ヲ販賣開始致シマス
◆値ガ安クトモ品ハ惡クハアリマセン
◎配達ハ一俵ヨリ致シマス
御注文は―電話一一三七番―
平驛前
阿部石炭商店

◆内臟外科
◆外科一般
◆花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四三六番）
安齊外科醫院
看護婦募集